# INFORMATION

公開日：平成31年
3月　9日(土)、17日(日)、23日(土)、26日(火)
4月　4日(木)、13日(土)、21日(日)、27日(土)
5月11日(土)

投影開始時刻：1回目　午前10時30分～
2回目　午後　1時30分～
3回目　午後　2時50分～

観覧料：大人(高校生以上)　300円
中学生以下　無料
・入場券は投影開始30分前から発売します。
・投影開始後の入退場はできません。

定　員：150名(先着順)

**プラネタリウム関連事業のご案内**

プラネタリウムでは、星空コンサートや星空イベントなどを実施しています。
詳しくはお問合わせください。

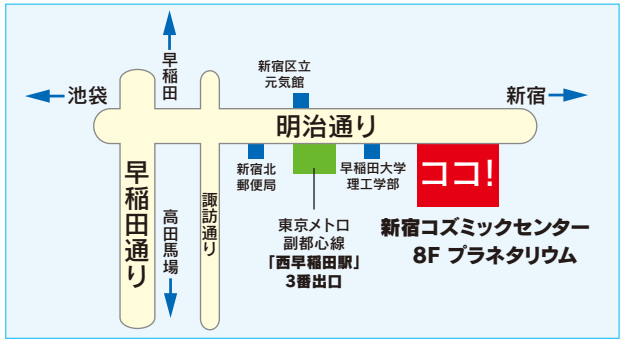
## 新宿コズミックセンター　プラネタリウム

新宿区大久保3-1-2　新宿コズミックセンター8F

●東京メトロ副都心線
「西早稲田駅」3番出口から
徒歩約3分

●JR/地下鉄東西線/西武新宿線
高田馬場駅から　徒歩約15分

●都バス
高田馬場駅から(高71)
新宿駅西口から(早77)
池袋駅・渋谷駅から(池86)
新宿コズミックセンター前
または早大理工前
下車徒歩約2分




**【問合せ】公益財団法人 新宿未来創造財団　TEL 03-3232-7701**

プラネタリウム春番組のご案内

# 星時間 ～春～

GOTO

プラネタリウム番組

# 未来(みらい)はボクらがつくるんだ!

## 22世紀のものがたり

## 100年後(ねんご)の未来(みらい)へ出発(しゅっぱつ)!

原画：萩尾望都

《キャスト》春風亭柳朝・宮田幸季・池澤春菜・ゆきじ・恒松あゆみ
《ストーリー原案》新井素子・井口健二・門倉純一・久美沙織・鹿野司・栗野司・片理誠・増田まもる
《キャラクター原案》萩尾望都　《メカニカルデザイン》加藤直之　《SF考証》鹿野司

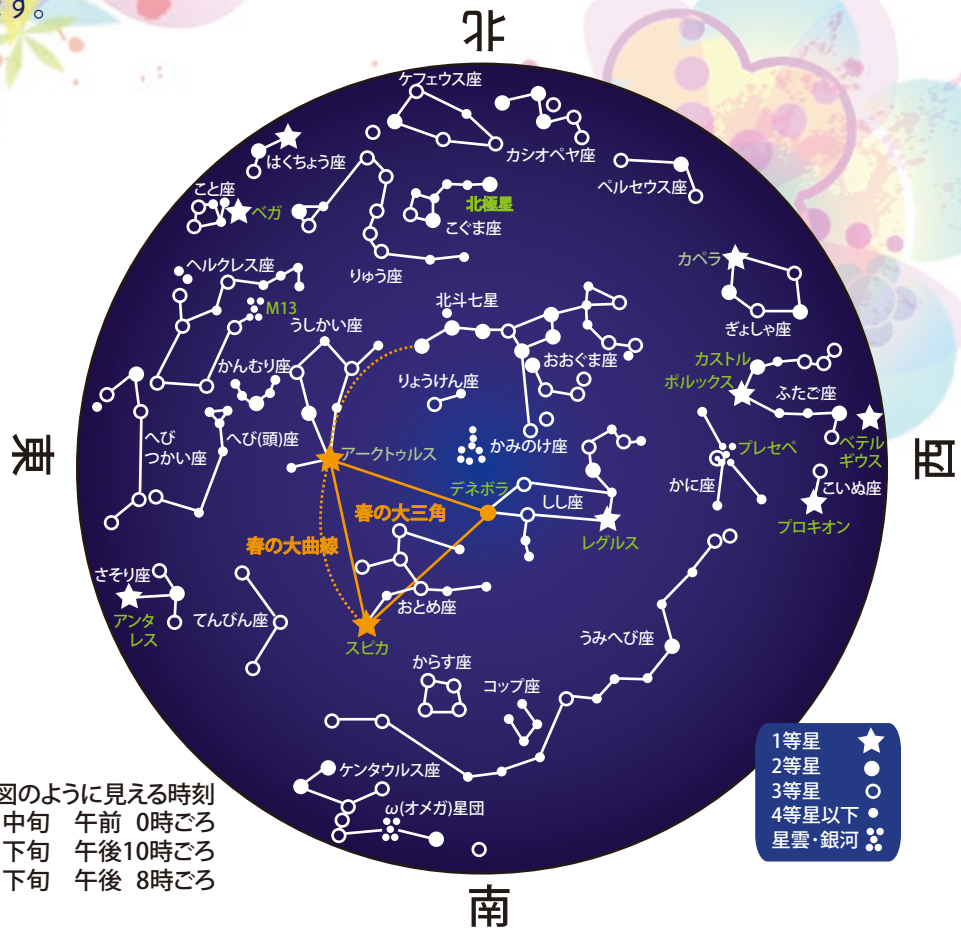
協力：日本SF作家クラブ　協賛：清水建設株式会社　制作：株式会社五藤光学研究所

2019年3月～5月

新宿コズミックセンター プラネタリウム

# プラネタリウム春番組
# 春の星空

　にぎやかな冬の星座が西の空にうつると、春の星座が優しく輝きはじめます。
　そして、しし座の2等星「デネボラ」、おとめ座の1等星「スピカ」、うしかい座の1等星「アークトゥルス」を結んでできる線が、「春の大三角」です。さらに、北の空に見える「北斗七星」のひしゃくの柄の先から線を伸ばし、アークトゥルスを通ってスピカまで繋げた線を「春の大曲線」と呼びます。




図のように見える時刻
3月中旬　午前　0時ごろ
4月下旬　午後10時ごろ
5月下旬　午後　8時ごろ

「春の大曲線」の終点スピカの先に、台形に並ぶ４つの星でつくるカラス座があります。そのすぐ下辺りからうねうねと右上に長く伸び、かに座まで達する長い星の並びがあります。それがうみへび座です。

## うみへび座の話

　ギリシャ神話の英雄ヘルクレスが怪物退治にやってきます。まずは、春の星座の代表格であるライオン（獅子）が相手です。続いて登場するのは大きなはさみを振りかざす化けガニ。難なく２匹をやっつけるヘルクレスですが最後に大物が登場してきます。その大物とヘルクレスの戦い。さて、どちらが勝つのでしょうか。
　お楽しみください。

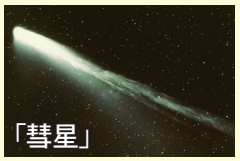
©五藤光学研究所

### 未来はボクらがつくるんだ！
22世紀のものがたり

　100年前の人々には、携帯電話を駆使して働く人々の生活の様子やビルが立ち並ぶ街々の今の様子など全く想像できなかったことでしょう。
　では、100年後の世の中はいったいどのようになっているのでしょう。とても興味がわいてきますが、なかなか想像がつきません。
　そこで、SFに詳しい人々に集まっていただき100年後の世界を想像していただきました。さあ、100年後の世界をのぞいてみましょう。
　もちろん、その世界の土台を創るのはあなた方自身ですよ。

てんもん・ちょこっと紹介

### 「彗星」と「流れ星」は同じもの？



　いいえ。違います。
彗星はガスやちりを含んだ氷のかたまりです。
　太陽に近づくと、次第に氷がとけて、内側にあるガスやちりが飛び出します。そこに太陽の光が当たってかがやくのです。地球から見ると、飛び出したガスやチリがほうきのように伸びて見えるので、「ほうき星」とも呼ばれます。
　流れ星は、宇宙で流れているわけではありません。地球でおきている現象です。宇宙をただようちりなどが地球の大気にぶつかり、光って見えるのです。